地域共生社会実現に向けて

～　学生編　～

大学用

公益財団法人
さわやか福祉財団

説明

○　学生編のねらい

「ボランティア活動の活性化による人材育成と地域共生社会づくり」とは

- **当財団の目的**

「共生社会づくり活動への参加」であり、学生に対してはボランティア活動への参加促進を目指している。

また、同時にボランティア活動への参加が、学生の 「人間力」を強化する人材育成の機会となることを期待している。

説明

【地域共生社会づくり】実現に向け、学生の人間力成長を促すボランティア活動を軸に、大学・地域・企業を繋ぐ「総括ボランティア活動報告書」を開発しました。

・各種資料を財団HPから取得。

・ボランティア情報を取得。
Or
・ボランティア活動を企画。

・ボランティア活動を記録してまとめる。

・資料をまとめ進学、就職先へ提出。
・採用、合格につなげる。

提案

【ボランティア活動報告書利活用による地域共生社会づくり】を
広く全国へ発信するために、当財団と連携し、令和4年度より
「総括ボランティア活動報告書」の利活用を学生に推奨していただきたい。

提案

○　依頼内容について

・ 当財団の目的達成に向けて、以下の事項に協力いただけましたら幸いです。

㋐　総括ボランティア活動報告書の利活用を学生に呼びかけていただきたい。
（大学内ボランティアセンターとの連携）

㋑　総括ボランティア活動報告書の活用事例を令和４年度～５年度の間、蓄積していただきたい。（大学内就職課との連携）

㋒　令和４年度末に大学からの「総括ボランティア報告書」への推薦文や学生の体験談を頂きたい。（大学内教員・学生との連携）※別途原稿料をお支払いします。

㋓　手引き書の表紙に掲載する写真を提供していただきたい。
（大学内ボランティアセンターとの連携）

提案

○ 大学側のメリット

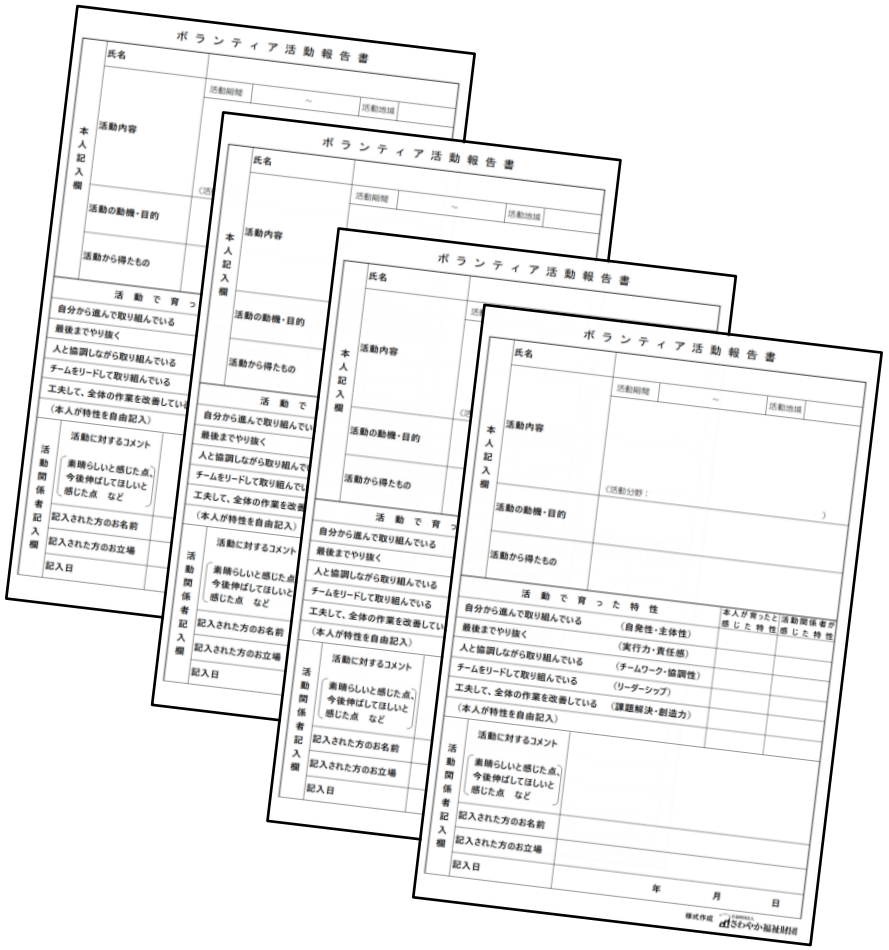
- 財団がボランティア活動報告書の関連調査によって、貴大学卒業生の人間力発揮に関する有意な事例等が確認された場合、得た事例の情報等を共有いたします。
- 貴大学が、地域共生社会づくりに協力していただいていることを財団広報誌等で広くPRさせていただきます。
- ボランティア活動報告書を活用した体験学習が、学生の人間力の向上に役立ちます。
- 学生の人間力の向上が、卒業生のよりよいキャリアへとつながる可能性を高めます。

説明

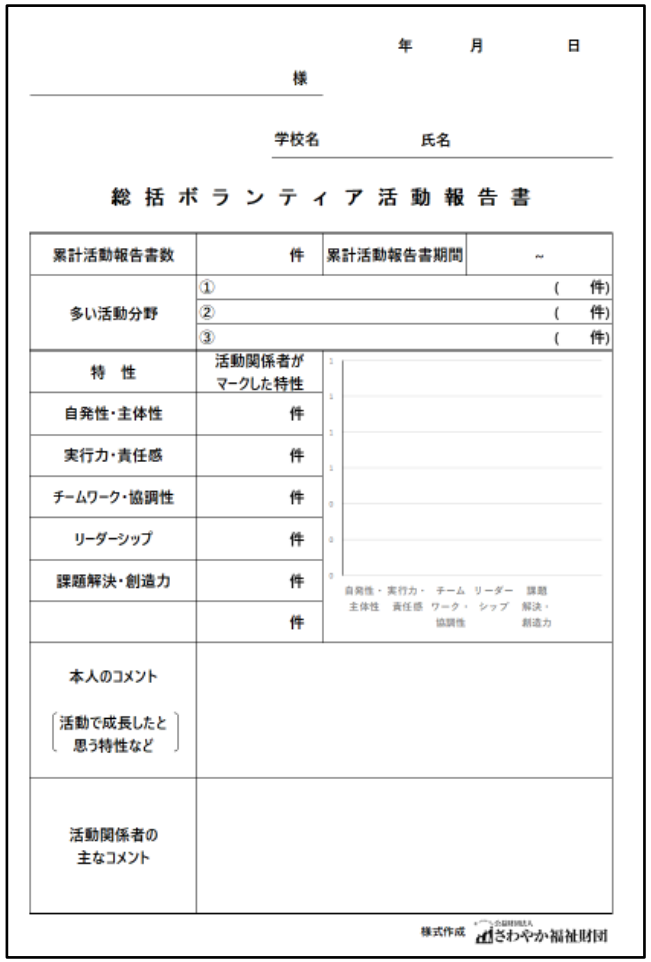
ボランティア活動報告書と
総括ボランティア活動報告書の仕組み

説明

ボランティア活動経験を積み重ね、まとめる。



ボランティア活動報告書
（活動毎に作成）



総括ボランティア活動報告書
（在学期間の活動を総まとめ）

説明

ボランティア活動報告書の特徴

説明

社会人に求められる力を5つにまとめ、捉えやすさを向上。

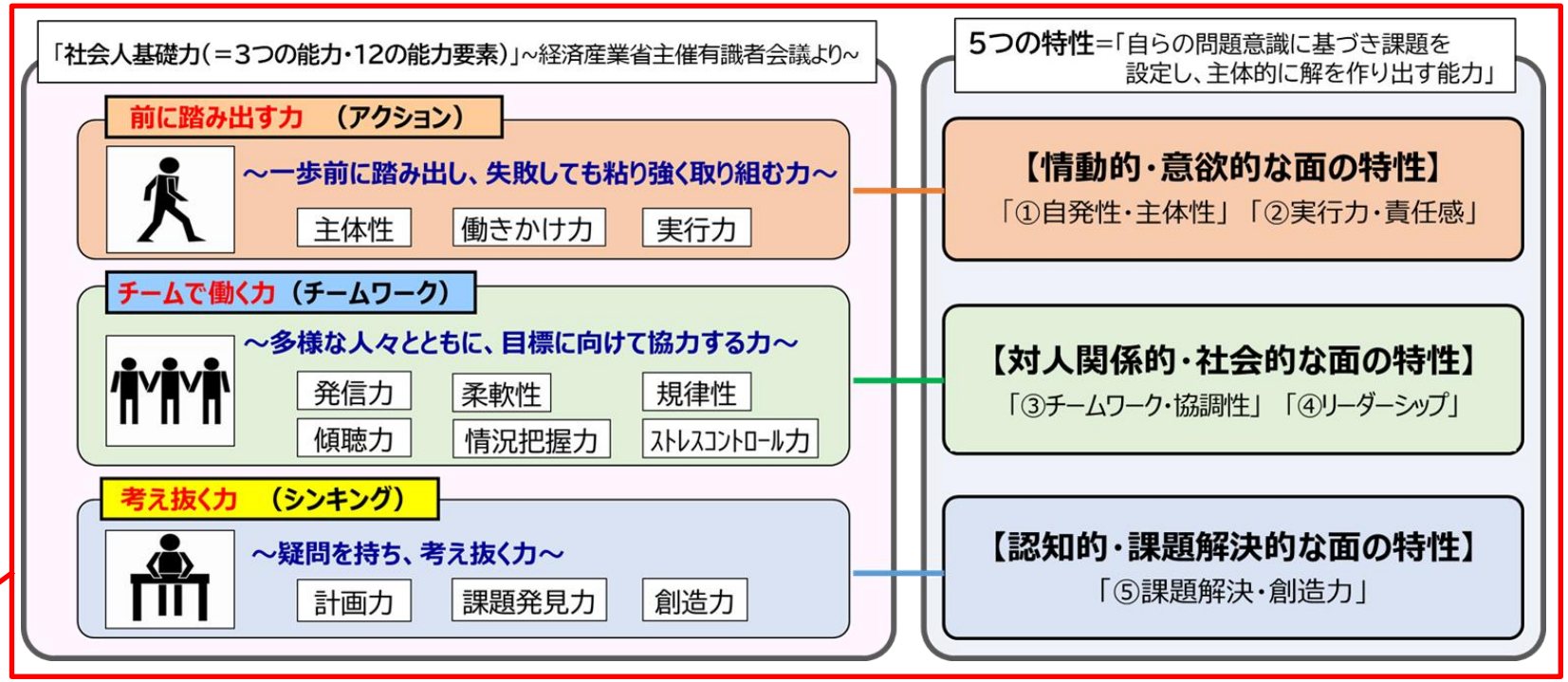
ボランティア活動報告書

本人記入欄	氏名			
	活動内容	活動期間 ～	活動地域	
		（活動分野：　　）		
	活動の動機・目的			
	活動から得たもの			

活動で育った特性		本人が育ったと感じた特性	活動関係者が感じた特性
自分から進んで取り組んでいる	（自発性・主体性）		
最後までやり抜く	（実行力・責任感）		
人と協調しながら取り組んでいる	（チームワーク・協調性）		
チームをリードして取り組んでいる	（リーダーシップ）		
工夫して、全体の作業を改善している	（課題解決・創造力）		
（本人が特性を自由記入）			

活動関係者記入欄	活動に対するコメント （素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点　など）	
	記入された方のお名前	
	記入された方のお立場	
	記入日	年　月　日

様式作成　公益財団法人 さわやか福祉財団



☜社会人基礎力（経済産業省）とのリンク。
学生が自分自身の強みとなる特性を意識しやすくし、
キャリア形成に意欲的になることをねらいます。

説明

総括ボランティア活動報告書の特徴

説明

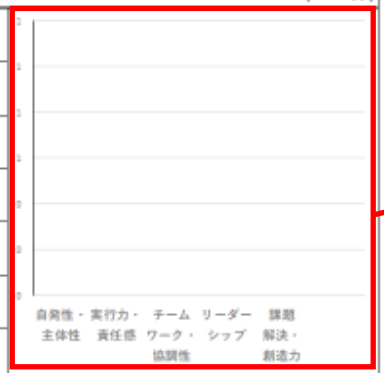
客観的な評価の積み重ねによる特性の見える化。

年　月　日

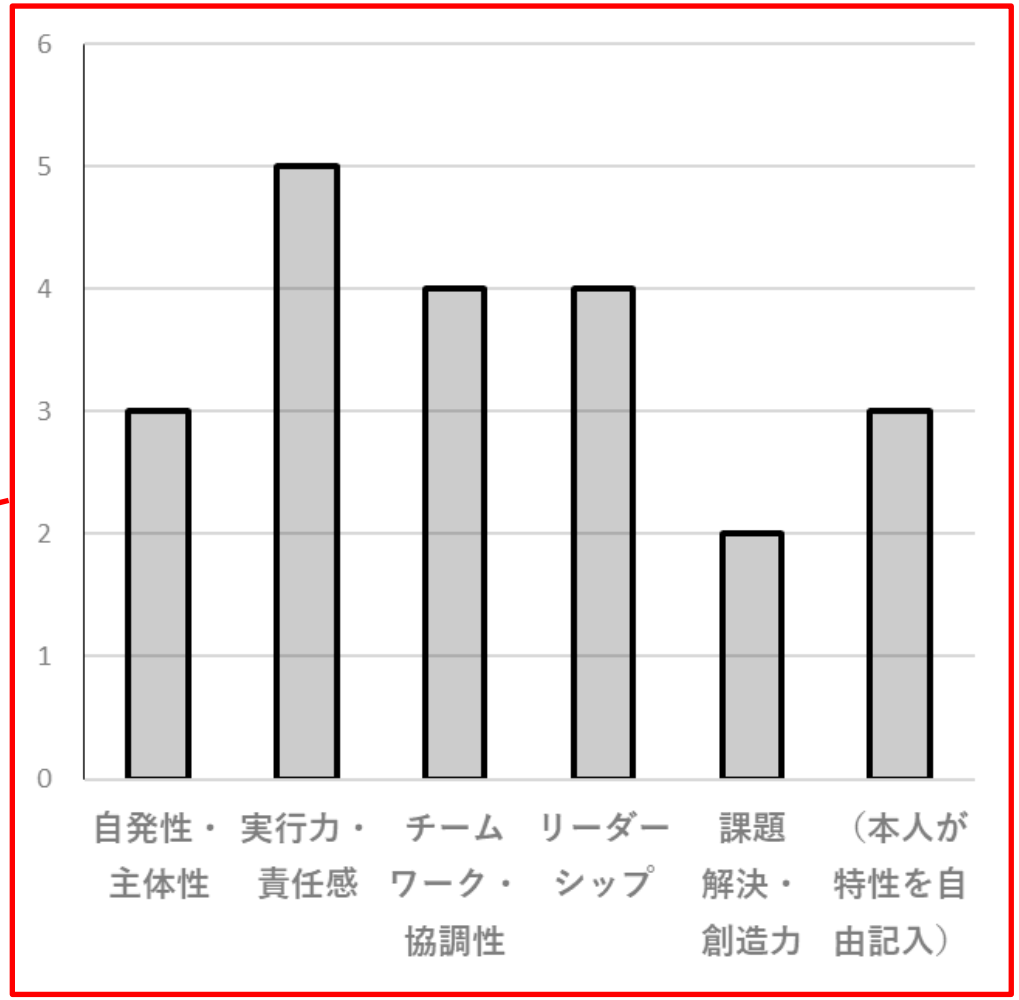
様

学校名　氏名

総括ボランティア活動報告書

累計活動報告書数	件	累計活動報告書期間	～
多い活動分野	①　（　件）		
	②　（　件）		
	③　（　件）		
特　性	活動関係者がマークした特性		
自発性・主体性	件		
実行力・責任感	件		
チームワーク・協調性	件		
リーダーシップ	件		
課題解決・創造力	件		
	件		
本人のコメント（活動で成長したと思う特性など）			
活動関係者の主なコメント			

様式作成　公益財団法人 さわやか福祉財団



グラフで人間性の特徴を端的に表現。

説明

ボランティア活動報告書・総括ボランティア活動報告書の特徴

① 目的を確認することで、地域等のボランティア活動へ積極的に参加ができる。

② 社会課題の解決に向けて、関係者と協働して努力する体験を通して、社会に有用な自己の特性を確認し、伸ばしていくことができる。

③ 特性の理解による自己有用感に基づき、将来的に「自己の特性を生かして働くこと」を明確に位置付けることができる。

④ 自己の特性を具体的に第3者へ伝えるための資料となる。
・大学入試の際に、希望大学・学部の合格につなげる資料として活用できる。
・就職活動の際に、希望する職場への配属につなげる資料として活用できる。

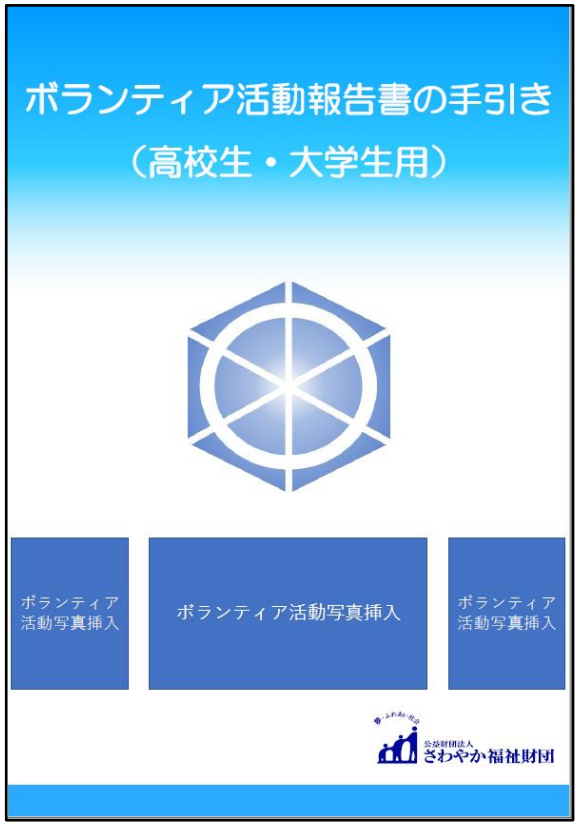
説明

財団HPの活用

○ HPの「マガジン」内に、「総括ボランティア活動報告書の利活用」項目の設置（仮）

○ HPよりDL可能な資料一覧（仮）

・ボランティア活動報告書、総括ボランティア活動報告書【様式Excelデータ】
・ボランティア活動報告書の手引き５種【PDFデータ】
・ボランティア活動報告書チラシ（学生向け）【PDFデータ】



○ HPでの「人間力の成長事例」紹介

・　ボランティア活動報告書を活用して、どのように学生の人間力が向上したかなどの事例を「学生本人」、「大学」、「地域のボランティア団体」などの多様な視点で紹介していきます。

「共生社会づくり活動への参加」を
心よりお持ちしています。